

住友金属鉱山の中期経営計画2027：成長戦略と市場評価の総合分析

住友金属鉱山が2025年5月12日に発表した「中期経営計画2027」は、2025年度から2027年度を対象期間とする同社の新たな経営戦略を示すものです。この計画では、足元の課題克服と長期的な企業価値向上の両立を図りながら、長期ビジョン「世界の非鉄リーダー」の実現を目指しています。本報告では、この新中期経営計画の内容と市場からの評価を多角的に分析します。

中期経営計画2027の概要と主要目標

住友金属鉱山の新中期経営計画は、四つの主要な取り組みを軸に構成されています。第一に「事業環境変化への対処」として、ケブラダ・ブランカ銅鉱山とコテ金鉱山の戦力化、電池材料事業の立て直し、製錬事業の競争力強化、ROCE経営（投下資本利益率を重視した経営）の推進を掲げています^[1]^[2]。第二に「次の成長への準備」として、ニッケル・銅・金の開発プロジェクト、リチウムイオン二次電池リサイクル事業、貼り合わせシリコンカーバイド基板、近赤外線吸収材料の推進・拡大を計画しています^[1]^[2]。

第三の取り組みは「持続的成長を支える資産・技術・人材の活用」で、優良な鉱山資産、卓越した技術、DX基盤、成長戦略を支える人材の活用による「ものづくり力」の強化を目指しています^[1]^[2]。第四に「経営基盤の維持・強化」として、サーキュラーエコノミーやカーボンニュートラル社会への貢献などのサステナビリティ活動、資本コストや株価を意識した経営の推進、コーポレートガバナンス体制の検討などを行います^[1]^[2]。

定量的な目標としては、2027年度の税引前利益を1,400億円（2024年度実績比で1,086億円増）に設定し、3カ年累計の設備投資・投融資額は4,370億円を計画しています^[1]^[2]。株主還元策としては、配当性向35%以上を維持し、下限指標DOE（株主資本配当率）を従来の1.5%から2.5%に引き上げるとともに、機動的な自己株式取得も検討しています^[1]^[2]。

市場評価と投資家の反応

この新中期経営計画と同時に発表された最大150億円の自社株買いは、市場から好意的に受け止められました。発表後、住友金属鉱山の株価は5日続伸し、5月13日には前日比136円高となる3,322円を記録しています^[3]。この株価の上昇は、投資家が同社の成長戦略と株主還元策を評価した結果と見られています。

アナリストからの評価も出始めています。SMBC日興証券は、同社に対する投資評価「1」（最高評価）を継続しながらも、目標株価を6,000円から5,400円に引き下げています^[4]。この引き下げの理由としては、ニッケル市況見通しの下方修正や、南米の政治情勢変化などのリスク要因が考慮されています^[4]。

成長性の分析

住友金属鉱山の新中期経営計画における成長戦略は、既存事業の収益力強化と新規事業の育成を両輪としています。2027年度に税引前利益1,400億円という目標は、2024年度実績の314億円から約4.5倍の成長を意味し、非常に意欲的な目標設定と言えます^[5]。

成長投資として3年間で1,500億円を配分し、ニッケル・銅・金の採鉱案件や新規優良案件の確保に注力する方針です^[5]。また、リチウムイオン電池リサイクル事業や貼り合わせシリコンカーバイド基板、近赤外線吸収材料など、新たな成長分野への投資も計画しています^{[1] [2] [5]}。

特筆すべきは、EV市場の急速な成長によるClass1ニッケル需要の増加や、再生可能エネルギー普及に伴う銅需要の拡大を見据えた長期的視点です。SMBC日興証券も、こうした長期的な成長余地の大きさを評価しています^[4]。

リスク要因の検討

新中期経営計画が直面するリスク要因としては、いくつかの外部要因が挙げられます。短期的には、米国の金融引き締めと投機資金の商品市場からの流出リスク、チリやペルーの政治情勢変化（鉱山業に対する課税強化の動き等）、青山鋼鉄集団などによるニッケルの増産がニッケル市況に与える影響などが懸念されています^[4]。

また、EV市場成長の鈍化や電池材料の品種切り替えといった事業環境の変化も課題です。住友金属鉱山はこれに対応するため、電池材料事業の生産体制見直しを行っており、当初計画していた2030年の生産量1万5千トン/月体制に向けた増強計画を見直し、自社リソース中心の生産体制に移行する方針としています^[5]。

こうしたリスクに対処するため、同社はROCE経営の推進を掲げており、資本効率を重視した投資判断と事業ポートフォリオ管理の強化を図っています^{[1] [2]}。

海外展開戦略

住友金属鉱山の海外戦略は、既存の海外鉱山プロジェクトの戦力化と拡張に重点を置いています。特に、ケブラダ・ブランカ銅鉱山（チリ）とコテ金鉱山（カナダ）の操業安定化と生産効率向上が重要な取り組みとして位置づけられており、将来的に計画されている拡張案件への準備も進めています^{[1] [2] [5]}。

また、長期ビジョンとして掲げる「世界の非鉄リーダー」を実現するため、新たな優良権益獲得による鉱山オペレーションへの新規参画も目指しています^[6]。カルグーリー・ニッケルプロジェクトへの投資も計画されており^[5]、海外資源の確保に向けた積極的な姿勢が見られます。

これらの海外展開は、同社が300年以上受け継いできた鉱山開発・運営の技術や経験を活かすものであり^[7]、同社の強みを発揮する戦略と言えるでしょう。

人材戦略と組織基盤の強化

住友金属鉱山は、持続的成長を支える重要な要素として人材の活用を挙げています。中期経営計画では「持続可能な組織基盤の構築と事業戦略に」関連する「人材マテリアリティ主要施策」について言及しており、「人的資本経営」の考え方を取り入れています^[8]。

具体的には、成長戦略を支える人材の活用による「ものづくり力（稼ぐ力）」の強化が重視されており^{[11][12]}、長年培ってきた技術の継承と新しい技術領域への挑戦を支える人材の育成が重要視されていると考えられます。特に、高度な技術を要する新材料開発や、デジタル技術を活用した生産性向上などの分野では、優秀な人材の確保と育成が不可欠です。

知財・無形資産戦略

同社の知財・無形資産戦略については、「価値創造ロジックツリーに、中期経営計画の戦略と資源配分に関する考え方を紐付け、各施策の関連性を論理的に整理」していることが示されています^[9]。研究開発、人材戦略、DXの取り組みを無形資産として捉え、これらを活用した価値創造を目指しているようです。

特に、貼り合わせシリコンカーバイド基板や近赤外線吸収材料など、高度な技術を要する新材料の開発・事業化^{[11][12][15]}においては、知財戦略が重要な役割を果たすと考えられます。また、DX基盤の活用^{[11][12]}も言及されており、デジタル資産の活用も戦略的に進められていることがうかがえます。

結論

住友金属鉱山の「中期経営計画2027」は、短期的な課題への対応と長期的な成長基盤の構築をバランスよく組み合わせた計画として評価できます。特に、非鉄金属の中長期的な需要拡大を見据えた成長投資と、変動の激しい事業環境に対応するためのリスク管理強化の両立を図っている点が特徴的です。

市場からは概ね好意的な評価を得ており、特に株主還元策の強化と明確な利益成長目標の設定が評価されています。一方で、短期的なリスク要因も複数存在し、特に電池材料事業の環境変化への対応や海外の政治リスク管理が今後の課題となるでしょう。

長期的には、持続可能な社会への貢献をビジネス機会として捉え、リサイクル事業の強化やカーボンニュートラルへの取り組みを進めている点も注目されます。そのため、住友金属鉱山が掲げる「世界の非鉄リーダー」という長期ビジョンの実現に向けた重要なステップとして、この中期経営計画の進捗は今後も注目されるでしょう。

✽

1. https://www.smm.co.jp/en/news/release/uploaded_files/20250512_1_EN.pdf
2. https://www.smm.co.jp/news/release/uploaded_files/20250512_1_JP.pdf
3. <https://finance.yahoo.co.jp/news/detail/7e5fb741fce5741e1cbcd77d27ccb464462e454d>
4. https://researchdirect.smbcnikko.co.jp/pdf/front_pdf_preview.php?reportid=VZgxHDWvzXY%3D&u=S_WzsKyzKY%2BI%3D&wf=1
5. <https://news.yahoo.co.jp/articles/af2793e0b7343de3609ced302a446a0d0f3bdc20>
6. <https://www.smm.co.jp/ir/management/plan/>
7. https://www.smm.co.jp/ir/library/integrated_report/pdf/2023/2023_All.pdf
8. https://www.smm.co.jp/ir/management/plan/pdf/250512_setsumeikai.pdf
9. https://www.smm.co.jp/ir/library/integrated_report/pdf/2024/2024_section3.pdf